

## キリマンジャロ レモシヨルート登山

日程：2020年2/21(金)～3/2(月)

参加：FM、WK、OK、IY、AA(記)

ガイド米田 H(会員以外 1名参加)

行程：21(金)20:40 成田空港/22(土)=12:50 キリマンジャロ着

23(日)ロンドロッシゲート入山申請-ビクトゥリーキャンプ 4h

24(月)ビクトゥリーキャンプ-シーラ 1 キャンプ-シーラ 2 キャンプ 9h

25(火)シーラ 2 キャンプ-バランコキャンプ 8h

26(水)バランコキャンプ-カラंगाキャンプ 5h

27(木)カラंगाキャンプ-バラフキャンプ 23:00 頂上アタック開始

28(金)ウルフピーク 7:30 着-下山開始-ムウェキャンプ

29(土) ムウェキャンプ-ムウェカゲート=ホテルへ

アフリカ大陸最高峰キリマンジャロに挑戦してきました。ガイドは米田さんです。2/21(金)18:00 成田空港に集合いざ出発。荷物の準備や通貨や高山対策など、不安と期待にドキドキの出発でした。

飛行機を2回乗り換えやっとタンザニア・シモのホテルに到着。最後のシャワーを浴びてビールで乾杯です。米田さんに選んでもらったタンザニア料理も初体験。



ガイドの米田さん含めて7人パーティですが、現地スタッフは21人お願いして登る事になりました。重いテントや水食事は、ポーターさんが運び準備までしてくれて、おいしい食事も作ってくれるという事です。登山初日今回はレモシヨルートをお楽しみします。車でロンドロッシゲート(2,385m)へ。

ポーターさんの荷物は1人20Kgと決まっているそうです。そしてびっくりしたのが、荷物を頭にのせて運ぶこと。このス

スタイルが安定するのだとか。一日目は午後だけあるいてビクトゥリーキャンプへ到着しました。今日からしばらくテント泊です。キャンプにつくとテントが設営してあって、お茶とおやつがすぐに食べられるように準備してありました。

2日目は9時間かけてビクトゥリーキャンプ(2,780m)からシーラ2キャンプ(3,900m)まで約9時間1,200m近く上がっていきます。山を一つ乗越すのですが、2日目が見つかった。歩いても歩いても山が越えられない。キャンプについた時はみんなぐったりでした。



タンザニアにはお米もあります。“ピリピリ”という唐辛子調味料で、好みの辛さにアレンジもできます。スープに入れたり、家庭ごとの味があるようです。

4,000m付近で2日間順応日を過ごし、いよいよ頂上を目指します。夜23:00山頂に向けて出発。普段より風が強いようで寒くて手足も冷たくなりました。

見上げるとヘッテンのライトが天に上るようにつながっていました。歩

いても歩いてもライトの道は天に向かって続いている。なんてデカイ山なんだ。5,800mの山の大きさを実感しました。高山病にならないように、ゆっくり歩き、深呼吸をしながら血中酸素が落ちないように気を付けてあるきました。

朝6:20、真っ暗な空に光の線がはしると、強烈な光が広がって行きました。体力も限界で必死ななか、日が昇ると元気が湧いてきました。ここでやっとステラポイントに到着。ここからウルフピークまではさらに1時間かかる！空気が薄くて少し歩いただけでも足が止まってします。1時間かけてやっとウルフピークに到着したのです。ここまで来て嬉しいけど寒くてブルブル震えながら、記念撮影をしました。



仮眠をするバラフキャンプまで下った時には、ぐったりでした。もう動くのも限界で、テントに入ったらあっという間に寝てしまいました。

山頂までは、ポーターさんにザックをもってもらったり、励ましてもらったりしながらなんとか到達する事が出来ました。メンバーそれぞれ、高山病や腹痛と闘いながら必死にのぼりました。つらかったけど、米田さんが現地スタッフと沢山コミュニケーションを取らせてくれたし、感動的な登山になりました。

最終日の朝、ポーターさんに報酬とチップをあげる儀式がありました。歌とダンスをしてくれてとても盛り上がりました。あとは約1週間ぶりのシャワーとビールを目指して下山口ムウェカゲートへ向かいました。未知の国、5,800mの世界はたくさんの経験と感動でいっぱいの登山になりました。このメンバーで行けたこともとても素晴らしい経験になりました。